

GIL SHAHAM

ギル・シャハム
ヴァイオリン・リサイタル

VIOLIN RECITAL



6/26(金)19:00 紀尾井ホール

Friday, June 26, 2020 at 7 p.m. Kioi Hall, Tokyo

ブラームス:

F. A. E. ソナタから スケルツォ
Brahms: Scherzo from F. A. E. Sonata

ドヴォルザーク:

4つのロマンティックな小品 op. 75
Dvořák: 4 Romantic Pieces op. 75

ドヴォルザーク:

ヴァイオリン・ソナチネ 長調 op. 100
Dvořák: Violin Sonatina in G major op. 100

メシアン:

主題と変奏
Messiaen: Thème et variations

フォーレ:

ヴァイオリン・ソナタ第1番 イ長調 op. 13
Faure: Violin Sonata No. 1 in A major op. 13

江口 玲(ピアノ)



AKIRA EGUCHI, *Piano*

S ¥10,000 A ¥8,000



主催: KAJIMOTO
後援: アメリカ合衆国大使館

現代最高、シャハムのヴァイオリンからは心地よい風が吹く。

ギル・シャハムが2年ぶりに東京でリサイタルを開く。

彼のことを言葉で紹介するなんて、そして「現代最高のひとり」と今さら呼称するなんて野暮かもしれない。それくらいシャハムは微笑みながら(比喩です)、風が吹くかのごとく自然体の音楽をやる。尺八の奏者にとって竹林を風が吹き抜ける時の音が理想だという話に武満徹が深く共感したそうだが、そんな感じを思い起こす。もちろんシャハムが今のように最高のヴァイオリニストになったのは日々の精進あつてのことに違いないのだが、それをまったく感じさせず、らくらくと流れていく爽やかで美しい音。しなやかこの上ない右手のボウイングに寸分の狂いもない左手の運指。神はなんという自然を彼に与えたのだろう。その音楽の流れは優しい歌を生み、シャハムのかつてのアルバムに、名ギタリストのセルシエルと共演した「シューベルト・フォー・トウー」というものがあったが、ここで彼の美質の最高の発露が聴けた。歌はときに微妙な陰影を宿しながら、絶えず色を変えながら流れていく。風にも四季折々の匂い

があるように。また、この録音の姉妹盤のようなものに、妹のオルリと共演した「ドヴォルザーク・フォー・トウー」があり、これもすこぶる魅力的だった。

今回はこの稀代のメロディ・メーカー、ドヴォルザークのソナチネが聴ける絶好の機会だ。プラス、彼を世に出した恩人ブラームスも。そして彼らとは対照的な旋律の流れや和声をもつフランスのフォーレやメシアンと共に。

盟友でありソリストである、おなじみ江口玲との共演がシャハムの美質をさらに清々しいものにしてくれる。スターン、パールマン、ズッカーマン、ミンツらユダヤ系の名ヴァイオリニストの後をいき、しかし彼らとはまったく違うシャハムのコンサートをあとにすると、いつも聴き手の心には心地よい風が吹く。

(A)

Gil Shaham, Violin ギル・シャハム(ヴァイオリン)



©Luke Ratray

完璧なテクニック、比類なき優しさと寛大な心を持ち、現代で最も傑出したヴァイオリニストの一人としての地位を不動のものとしている。グラミー賞受賞、そして「ミュージカル・アメリカ」からは年間最優秀器楽奏者に選出され、常に名高いオーケストラや指揮者からソリストとして招かれ、リサイタル活動以外にも世界有数のコンサートホールや音楽祭で活躍する。

定期的にベルリン・フィル、コンセルトヘボウ管、パリ管、ボストン響、シカゴ響、イスラエル・フィル、ロサンゼルス・フィル、ニューヨーク・フィルなどのオーケストラに客演。また、モントリオール、シュトゥットガルト、シンガポールでは長年アーティスト・イン・レジデンスを務めてきた。そのほか、オーケストラと共に「1930年代のヴァイオリン協奏曲」と題したプロジェクトの一環で、バーバー、バルトーク、ベルク、コルンゴルト、プロコフィエフらの作品を追求してきた。

1971年アメリカのイリノイ州生まれ。イスラエルに移住し、1981年にエルサレム響およびイスラエル・フィルとの共演でデビューした。

使用楽器は、1699年製のストラディヴァリウス「ポリニャック伯爵夫人」。

Akira Eguchi, Piano 江口 玲(ピアノ)



©小林邦寿

東京藝術大学音楽学部作曲科を卒業したのち、ジュリアード音楽院のピアノ科大学院修士課程、及びプロフェッショナルスタディを修了。現在、欧米や日本をはじめとするアジア各国でのリサイタルや室内楽、協奏曲等で活躍するほか、ギル・シャハム、竹澤恭子、アン・アキコ・マイヤースら、数多くのヴァイオリニストたちに信頼され、共演している。

レコーディングでも高い評価を得ており、数々の作品をリリースし高い評価を得ている。最新作は2019年6月に発売されたラフマニノフの前奏曲などをおさめた『ラフマニノフ』で、レコード芸術誌の特選盤に選出された。

2011年5月までニューヨーク市立大学ブルックリン校で教鞭を執る。現在、洗足学園音楽大学大学院客員教授、東京藝術大学ピアノ科教授。ニューヨークと日本を行き来して演奏活動を行っている。

オフィシャル・ウェブサイト www.akiraeguchi.com300

チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※オペレーター対応(10:00~18:00)

ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 174-896)

e+(イープラス) <http://eplus.jp/>

CNプレイガイド 0570-08-9990

ローソンチケット 0570-000-407

紀尾井ホールチケットセンター 03-3237-0061

twitter @kajimoto_News

facebook

YouTube YouTube

“kajimotomusic” で検索!

@kajimotomusic

カジモト・イープラス



一般発売:
2/22(土)10:00~

カジモト・イープラス会員限定先行受付: 2/13(木)12:00~2/16(日)18:00 先行受付専用番号 TEL: 0570-06-9969[10:00~18:00(初日のみ12:00より受付)]

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。

●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。●団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。

KAJIMOTO 〒104-0061 東京都中央区銀座6-4-1 東海堂銀座ビル5階 TEL: 03-3574-0550 <http://www.kajimotomusic.com/>